



「とやま賞」は、富山県の置県百年を記念し、富山県ならびに日本の将来を担う有為な人材の育成に資する目的をもって昭和59年に創設され、今回で39回目を迎えました。

受賞対象者は、富山県出身者、または富山県内在住者で、学術研究、科学技術、文化・芸術、スポーツの分野において、顕著な業績を挙げ、かつ、将来の活躍が期待される人に対して、賞状、奨励金を贈呈して、その活動を奨励しております。

今年の贈呈式は、5月23日(月)に富山市のパレブラン高志会館で行われ、学術研究部門で3名、科学技術部門で2名の計5名の方々が受賞されました。

第39回受賞者

学術研究部門 医薬分野(整形外科、運動器病学)

大阪大学世界最先端研究機構免疫学フロンティア研究センター 特任准教授

箭原 康人 氏

「誰もが安定した運動器を維持できる社会づくりへの挑戦」



学術研究部門 理工分野(土壌生態学)

国立研究開発法人森林研究・整備機構 主任研究員

藤井 一至 氏

「植物・微生物による土壌発達・劣化機構の解明と土壌再生技術への応用」



学術研究部門 人文社会分野 (文学、アメリカ文学、日系アメリカ文学、移民研究)

富山大学教養教育院 准教授

水野 真理子 氏

「翁久允研究 ー日系アメリカ文学および富山の文化・文学の観点から」



科学技術部門 (環境分析化学)

国立研究開発法人産業技術総合研究所 研究グループ長

谷保 佐知 氏

「ペルフルオロアルキル化合物等の有害化学物質研究手法開発と国際標準規格化」



科学技術部門 (振動音響工学)

富山県立大学工学部機械システム工学科 准教授

寺島 修 氏

「高精度圧力計測技術とスマートマテリアルを利用した振動騒音制御技術の開発」



石塚選考委員長より選考経過報告



新田知事より贈呈



受賞記念講演